

三方五湖学習

三方五湖子どもラムサールクラブ 令和3年度の活動開始

三方五湖をフィールドに、自然と文化を楽しく学ぶ三方五湖子どもラムサールクラブ。令和3年度は、美浜町、若狭町両町の小中学生26名の加入がありました。

6月4日（金）、リブラ若狭にて子どもラムサールクラブの事前説明会が開催されました。今年度は、新たに加入された方、引き続き継続加入された方、下は小学1年生から上は中学1年生まで。保護者の方と一緒に、講師の小嶋明男氏、武田真澄美氏からの活動の説明や注意事項などを聞きました。また、クラブ員お揃いのTシャツのサイズ合わせや特製生き物図鑑などの

グッズの配布もあり、最初は緊張した表情のクラブ員でしたが、徐々に他のクラブ員たちと打ち解け、リラックスムードの初顔合わせとなりました。

ラムサールクラブは3年度目となりますが、参加者数は増えており、仲間が増えています！

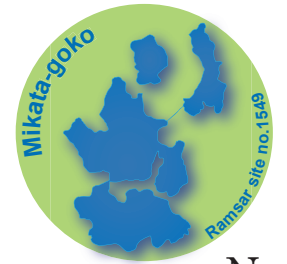


オリジナルグッズ



環境教育部会・大下部会長
ごあいさつ

三方五湖 ニュースレター



No. 25
令和3年10月1日発行



はす川のお魚観察

自然再生関連会議等開催情報

- ◆全体会
 - ・令和3年7月16日
- ◆湖と田んぼのつながり再生部会
 - ・令和3年4月16日…実施者打合せ
- ◆環境教育部会
 - ・令和3年6月27日…関係者打合せ
- ◆シジミのなぎさ再生部会
 - ・令和3年6月25日

最新情報は
↓こちらから



三方五湖の自然とめぐみTOPIX

鯉・鮒、鰻 紹介パンフレット



三方五湖の伝統的な漁業の“システム”は、高い評価を受け、日本農業遺産に登録されたところです。

このたび、三方五湖の湖魚を代表するコイ・フナ、ウナギをそれぞれ紹介するパンフレットが、三方五湖世界農業遺産推進協議会により発行されました。同パンフレットでは、農業遺産に登録された要件が分かりやすくまとめられています。ぜひご覧ください！

問合せ先

- 福井県安全環境部自然環境課
〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
TEL 0776-20-0305
- 美浜町住民環境課・産業振興課
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷第25号25番地
TEL 0770-32-1111 (代表)
- 若狭町環境安全課
〔三方庁舎〕
〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地
TEL 0770-45-9126
- 若狭町歴史文化課縄文環境室
〔若狭三方縄文博物館内〕
〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1
TEL 0770-45-2270

三方五湖のなかまたち

オオバン(クイナ科)

ユーラシア大陸の亜寒帯以南、オーストラリア大陸で繁殖し、熱帯・亜熱帯に渡って越冬する。日本では本州中部以北、北海道で繁殖する。



写真：高橋繁応氏

・湖沼、河川、水田などのヨシやガマが生育する湿地に生息し、潜水して水草を食べたり、水辺の昆虫、貝、甲殻類などを食べる。

このニュースレターは「令和3年度生物多様性保全推進交付金（環境省）」を使用しています。

目次

- はす川の魚観察、水田養魚稚魚取り上げ 1
- 令和3年度第1回全体会 2
- 三方五湖学習、自然再生関連会議開催状況、三方五湖の自然とめぐみTOPICS、三方五湖のなかまたち 3

三方五湖自然教室 はす川の魚を観察しよう

令和3年5月30日、はす川の落合堰（若狭町藤井）において、毎年恒例となった、水辺の生きもの観察会が開催されました（主催：福井県海浜自然センター）。県内から参加のあった親子5組が、たも網を持って川に入り、親子で協力して魚など水辺に生息する生きものを捕まえました。

みんなで捕まえた生きものについては、講師のハスプロジェクト推進協議会メンバーから、その名前や特徴などの説明をうけ、はす川にすむ生きもの豊かなさや、川と湖のつながりについて学びました。



親子で水辺の生きものを捕獲

捕獲し魚の特徴解説

気山小学校 かや田の親子自然観察会

令和3年6月5日、若狭町立気山小学校全校児童と保護者による“かや田の自然観察会”が、気山小学校PTAの主催により行われました。梅雨の合間で、程よいお天気のもと、開催されました。

かや田の親子観察会は、10年以上続く“伝統”の行事です。最初に参加した子どもたちは、すっかり成人しているはず。そして、毎年行われているので、6年生は皆、“6回目”の参加となります。親子でダルマガエル、ホトケドジョウ、キタノメダカなど絶滅危惧種も手に取って観察しながら、そして時に、高学年から低学年に教える姿もありました。



田んぼでの生きもの捕獲



生きもの観察

捕獲した生きもの

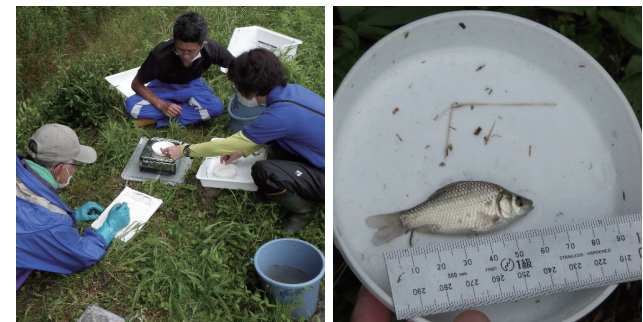
フナの稚魚育成 水田からの稚魚取り上げ

湖と田んぼのつながり再生部会では、今年も、6月下旬から7月上旬を中心に、仔魚を収容していた田んぼから、フナ、コイの稚魚取り上げを行いました。5月に仔魚を入れた田んぼでは、田んぼで自然に発生するプランクトンなどを食べ、1cm足らずの仔魚は、数cm程度の稚魚（幼魚）に育ちます。そして、田んぼから取り上げたフナは、その一部をサンプリングし、体長や体重を計測し、取り上げたフナ全ての重量を記録しました。

育成田に参加してくださる農家さんは少しずつ増えており、取組面積も拡大しています。



田んぼの排水用パイプから流れ出るフナをネットで受けて回収



取り上げたフナの重さや大きさを計測

三方五湖一斉清掃

令和3年9月26日に、三方五湖一斉清掃が開催されました。五湖一斉清掃では、美浜町、若狭町の町民や各種団体、企業等も参加し、行われます。この日は、両町あわせて370kgのゴミが集められました。湖岸や水際から集められたゴミは、ペットボトルや缶、ビン、ビニル袋、食品用プラスチック容器、釣り糸やタバコの吸い殻など様々で、一つ一つ分別し処理されました。



湖岸を歩きながら、空き缶やビニル袋などのゴミを回収

“昔の水辺の風景”絵画展

子どもたちが、自宅や近所のお年寄りに聞き取って昔の風景を聞き描く、「昔の水辺の風景」絵画。今年は、「話そう 描こう 水辺のくらし」と題して、絵画募集をしました。この取組は、なんと、今年で15回の開催となりました。今年も、美浜町、若狭町からたくさんの応募があり、9月は福井県海浜自然センターで展示しました。10月は三方ショッピングセンターレピアでの展示を予定しています。

これまでに描かれた作品は、“みんなの三方五湖マップ”でご覧いただくことができます。

みんなの三方五湖マップ



福井県海浜自然センターでの絵画展示の様子

令和3年度第1回全体会

令和3年7月16日（金）、美浜町はあとびあにて、三方五湖自然再生協議会全体会の令和3年度第1回全体会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症が収まらない中でしたので、県外の方にはリモートでのご参加を尾根阿木氏、会場でも密を避けながらの開催となりました。そのため、協議会会長の鷺谷いずみ先生も、ご自宅からリモートでのご参加となりました。

当協議会では、一昨年度から自然再生事業実施計画の第2期計画の策定に取り組んでいます。当日

は、まずは、これまで初代実施計画をもとに取り組んできた自然再生事業について、各部会で行ってきたレビューの内容をを部会横断で確認しました。さらに、各部会で議論を重ねてきた、今後の取組方針や、取り組むべき内容、資金調達方法について事務局から説明があり、質疑応答がありました。

全体会では、レビューの内容と第2期計画の素案について、概ねの了解を確認しつつ、さらに細かな調整を加え、令和3年度内に第2期計画案の内容を当協議会として確定することを確認して会議を終えました（最終的な計画確定は、国が設置する専門家会議で承認を得ることになります）。



鷺谷会長、吉田副会長リモートご出席



青海副会長ごあいさつ



会場の様子